

令和6年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 網走福祉協会	代表者	古賀 敏朗	法人・ 事業所の 特徴	網走市向陽ヶ丘の住宅街にサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設並びに小規模多機能居宅介護支援事業所を開設運営し、網走市の高齢者福祉、介護の推進、充実に貢献する事を目的とし、平成21年4月にオープンした。ユニット型個室であり、入所定員18名(9名1ユニット×2) 小規模多機能登録定員、15名(通い定員:最大9名、泊まり利用定員:5名) 「地域密着」とはお年寄りがこれまで通ってきた地域での生活、人間関係が継続できること。「小規模」とは、お互いこじなみの関係ももてる居場所であること。「多機能」とは、平番って居住されて車自宅に来てくれて居宅的に住むことが出来ること有機的につながっている事を指します。 介護の内容は、日常生活全般の介護看護、地域、社会活動への参加、ご家族への支援である。 介護の目標は、一人一人に向き合い、気持ちに寄り添うこと。1日の生活がスムーズに流れるように支援すること。家族や地域とのつながりが切れないよう支援し、誰でも立ち寄って頂ける施設環境を作っていきます。
事業所名	向陽ヶ丘レインボーハイツ	管理者	田宮 匡史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他 (網走市杜協)	合計
	1人	人	2人	人	4人	1人	人	1人	人	9人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・今後も職員全員で自己評価に取り組み、より良い評価になるよう日々のケアに努めていく。	・該当職員全員で、日々のケアを見直し自己評価の実施ができた。	・職員の皆さんが「よくできている」「なんとかできている」の欄にチェックをつけているものが多く、しっかり取り組まれていると思います。 ・すごくいいと思います。人手不足のなか取り組んでくれて安心です。諦めない事業所でいてください。 ・スタッフの皆さんが介護に對し一生懸命に取り組んでいることがわかります。	・今後も運営推進会議の皆さんの意見を取り入れつつ、職員一丸となつて、より良い評価ができるように取り組んでいきます。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	・利用者が楽しみを持てるような、季節を感じられる環境づくりを行っていく。玄関の施錠に関しては、世間の状況をみながらどうしていくか検討していく。	・季節の行事に合わせてフロアに装飾をしたり、行事食を提供させていただき、利用者の皆さんに楽しんでもらう取り組みを行うことが出来ていた。 ・玄関の施錠は今もしていないが、施錠することで身体拘束ともなってしまうため、今後も施錠はせず、見守り等をしっかり行い、無断外出などが無いよう注意をしていく。	・施設内の臭いや不快な音などは感じられないと思います。 ・基本的に施錠しないことは原則なので、お年寄りがお人で外に出ないような見守りの体制をつくれればいいと思います。例えば玄関に出たら音が鳴るなど。 ・今のご時勢的に不審者・侵入者に対する備えも必要になるのでないか。	・今後も施錠は行わず、他の方法で施設の防犯対策を検討する。
C. 事業所と地域の かかわり	・指摘があった挨拶や運転マナーについて、職員間で周知し改善に努めていく。 ・感染対策を行いながら、地域行事などの参加機会を増やしていく。	・運転マナーについては運営推進会議で指摘があった旨を伝え、気を付けている。 ・地域行事については、行事自体が行われていないため、参加できていないが、夏祭りなどの行事が再開されれば、施設として参加していきたいと考えている。	・いつも色々と質問しても笑顔で対応して下さいとても助かります。 ・職員とご近所の方との面識もあまりないので、挨拶ができていないこともあるようですが、近くで除雪されている方などは挨拶をしてもいいと思います。 ・飛び込みや電話などで、相談もあることから窓口としての役割はしっかり果たせていると思います。 ・特に気になる運転マナーの悪い人はいないと思います。 ・施設に在るわけではないので、行事に参加しているかと言われてもわからないという回答しかできない。 ・そもそも地域でのイベントがほとんどない状態で、イベントがあっても人手も少ないので、なかなか参加も出来ないと思います。 ・自治会の集まりなどは、参加して頂いています。	・引き続き、自治会など集まりには参加させていただき、他に地域でのイベント等があれば参加の機会を作っていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	・引き続き、地域での会議に参加し、利用者も地域に出向けるような関わりを持てるよう考えていく。	・地域会議などには出来るだけ参加している。利用者の地域への関わりについては、利用者が周辺地域に住んでいる方でない場合が多く、身体機能の観点から会議などへの参加は難しかった。	・地域の集まりがほとんどない中で、ご近所の心配な方の把握も難しいと思います。 ・利用している方が地域での会議に出席しても、わからないのではないのか。 ・元々周辺地域の方が利用されているなら顔見知りなどがいて交流の機会も取れていると思いますが、離れた地域の方も多く、出席する意味もないのではないのか。 ・現状のマンパワーでは、地域行事などへの参加も大変だと思いますので、無理せず行なって下さい。	・今後も地域での行事等は出来るだけ参加し、馴染みの関係性づくりができるような体制を取っていきます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・今後も地域の方やご家族の皆さんに参加してもらえるよう案内を出し、少しでも参加していただけるよう呼びかけていく。	・運営推進会議については2ヶ月に1回の開催が出来ていた。ご家族の方や地域の方、関係機関の方にも案内をし、人数は少ないが参加して頂いていた。	・メールなどで案内文や議事録などを送ってもいいのではないのか？ ・案内文などで参加の促しや、不参加だった方へ議事録の送付し周知してもらうなどはできていたのでもいいと思います。 ・2ヶ月に1回しっかり実施しているので、問題ないと思います。出来ていないところもあるらしいので。 ・運営推進会議の中で、利用の相談があった場合など紹介してもいいのではないのか？	・引き続き2ヶ月に1回の会議を継続し、ご家族、地域住民の方、他関係機関の方々の参加を呼び掛けていく。 ・今後、運営推進会議の案内などは、可能な方にはメールでのお知らせを検討していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・施設の防災計画について知らない方もおられるので、目に入る場所に防災計画を提示し確認しやすいようにする。引き続き防災訓練の案内をし、地域やご家族の方に参加してもらえる機会を作っていく。	・防災計画や業務継続計画(BCP)などは玄関入ってすぐのカウンターに誰でも見られるようにファイリングしている。年2回防災訓練を行っており、案内しているが、ご家族や地域の方に参加はなかなか参加してもらえていない状況である。	・向陽ヶ丘地区はしばらく防災訓練が行われていないので、参加自体難しいですね。 ・防災計画などホームページなどに掲載してもいいのではないのか？ ・人手が少ない中大変ですが、無理しない程度で以前あった広報誌などで呼び掛けてみるのもいいかもしれませんね。 ・防災計画を目に入る場所に置くことはとても良いことだと思います。家族もそれを見て安心につながります。	・引き続き防災訓練を定期的に行っていく、ご家族や地域の方にも参加していただけるよう、お便りなどでお知らせする。